



大阪市立 巽南小学校

校長名 谷野 智史

所在地 〒544-0015 大阪市生野区巽南2-10-7

電話 06-6757-9174 FAX 06-6757-6061

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671497>



主な学校行事

4月	入学式 始業式対面式 学習参観
5月	校外学習
6月	子どもフェスティバル
7月	期末個人懇談会 終業式 林間指導(5年)
8月	PTAたつたんフェスタ 始業式
9月	土曜授業(防災教育)
10月	運動会 校外学習
11月	修学旅行 卒業遠足(6年) 創立記念日 学習発表会(作品展)※令和4年度は創立50周年記念式典
12月	期末個人懇談会 終業式
1月	始業式
2月	卒業生を祝う会
3月	卒業式 修了式

教育目標

様々な体験を通して、感情や情操を高め、生命を大切に、他人を思いやる心や人権を尊重する心、感動する心、正義感や公正さを重んじる心など、「生きる力」の核となる豊かな心をはぐくむ教育の推進に努める。

令和3年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率 (%)

国語	算数
67	71

● 結果概要

令和2年度に引き続き国語科を学校の研究科目とし、学力の基礎・基本となる「読み取る力」の育成に重点を置いて研究を進めてきた。また、1人1台端末を活用し、児童1人1人に応じた学びや友だちとの協同的な学びを進めてきた。

今年度は、国語科・算数科のいずれにおいても、平均正答率が大阪市平均・全国平均を上回った。また、いずれにおいても平均無回答率は、大阪市平均・全国平均を下回った。これまでの継続した取り組みの成果が感じられる。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	17.27	20.86	36.28	36.15	46.36	9.47	137.72	20.00	52.94
女子	17.64	17.48	42.32	33.21	28.90	9.60	133.84	13.17	54.87

● 結果の概要

体力面において各種目の平均値をみると、男子は、握力・上体起こし・長座体前屈について、大阪市・全国平均を上回っていた。女子は、握力・50m走について、大阪市・全国平均を上回っていた。しかし、男女ともに反復横とび・立ち幅とびについては、大阪市・全国平均を下回った。

過去3年間を経年比較すると、体力合計点は、男子は52.94(令和元年度:49.45、平成30年度:45.64)で、ここ3年間で1番高かった。女子は54.87(令和元年度:52.91、平成30年度:52.96)で、ここ3年間で1番高かった。

標準服

有



重点目標

- 基礎・基本の学力の充実 及び 個々の能力を伸ばす教育の推進
- 「いのち」を大切に教育
- 社会の変化に対応した教育
- 心のつながりを大切に教育
- 生活規律の確立
- 環境を豊かにし、整備した教育
- 教師力の向上

めざす子ども像

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりぬく子
- たくましい子

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語科では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全項目において、平均正答率が大阪市平均を上回った。特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については全国平均を大きく上回り、高い正答率となった。学力推進事業を実施し、外部講師による国語科学習の指導方法について教員が継続して学習し、授業づくりの改善に努めた結果だといえる。

算数科では、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」の4項目において、平均正答率が大阪市平均を上回った。その中の3項目については、全国平均を大きく上回った。習熟度別少人数指導を展開し、個に応じた指導を実践し、ペアワークやグループワークを取り入れ、児童の学力の向上に努めた結果が出たといえる。

しかし、「データの活用」については平均正答率が低かったため、今後の課題だといえる。今後、学校力UPベース事業(習熟度別少人数授業等)を通して、学習教材データ配信やデジタルドリルを活用し、児童1人1人のつまずきを把握し、基礎的基本的な知識や技能を確実に身に付けることができるようにする。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

平素の体育科学習だけでなく、体育的行事や校外活動においても、運動委員会による「なわとび週間」、「小体連スポーツ交流会」等の体力向上につながる取り組みを行った。プロスポーツ選手等の出前授業(野球・サッカー等)も積極的に実施している。スポーツが本来もつ楽しさややすらさ、将来もスポーツを続けることへの思いを大切に育むことができる取り組みを継続している。

今後も、児童が意欲的をもって調査に臨むことができるよう、スポーツに親しみをもつことができる取り組みを引き続き行っていく。体力向上に連結した体育科の学習改善(タブレット端末機などICT機器を活用し、自分たちの課題を明確にしたり、互いにアドバイスしたりする場の設定等)や教員の指導力向上を推進していく校内体制づくりをさらに充実させていく。

校長先生のメッセージ

巽南小学校では、令和4年5月1日現在294人の児童が学んでいます。児童は、授業規律の確立された中で落ち着いた学校生活を送っています。日々の授業や行事にも積極的に取り組んでおり、地域も見守り活動を通して温かく見守ってくれています。子どもたちにとって安心して通える学校です。教職員一丸となって、人間性豊かな子どもの育成をめざし、地域・保護者・学校が一体となって教育活動を推進しています。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

大阪市教育振興基本計画の基本理念に基づいて、「人間性豊かな子どもの育成」を目標に、「よく考える子 思いやりのある子 力いっぱいやりぬく子」を目指す子ども像とする。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】
○令和4年度末の児童アンケートにおける「学校のきまりやルールを守るようにしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

○令和4年度末の児童アンケートにおける「友だちの気持ちを考え、友だちを大切にしている」の項目について、「とてもそう思う」と回答する児童の割合をどの学年も65%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和4年度末の児童アンケートにおける「学校の学習(勉強)はわかりやすい」の項目について、「とてもそう思う」と回答する児童の割合をどの学年も60%以上にする。

○令和4年度末の児童アンケートにおける「体育の時間は、進んで運動をしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和4年度末の児童アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習は楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童を85%以上にする。

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

● 人間性豊かな子どもの育成「いのちを大切に」

芝生や池、メダカやチャボなどの自然豊かな環境とふれあう体験を通して「いのち」に気づかせ、自然を大切に心を養います。また、「いじめ」のない支え合う集団の育成をします。児童相互、教職員と児童のふれあいを深め、児童の実態を正しく把握し、効果的な指導を行います。



特色ある学習活動

● ICTの活用「課題解決に向けて、調べ、考え、交流する、意欲的に学習する児童の育成」

意欲的に調べたり、考えたり、まとめたりする児童を育成するために、ICT機器を活用した指導を行っています。大型ディスプレイで映像資料を見たり、デジタル教科書を使ったりすることで、視覚的に分かりやすい授業を実践しています。

高学年ではICT機器を活用して、委員会活動についてプレゼンをする授業も行っています。まだICTスキルが不十分な低学年に対しては、高学年がタブレットPCの基本操作を教える交流学習を行っています。



家庭・地域等との連携

● 地域活動「子どもたちは地域の宝です」

登下校の見守り隊をはじめ、図書館ボランティア、巽南放課後将棋クラブ、はぐくみネットのおそうじティーチャー等の様々な活動、また、わくわくレクリエーションや巽南連合防災訓練、元気クラブの集い、ふれあいまつり、1年生と地域の交流会など、様々な組織・団体による多種多様な取り組みによって、子ども達の健全育成に協力していただいています。

特色ある学習活動

● 異年齢の交流活動「集団活動に意欲的に取り組む態度を養うとともに、連帯感を育てる。」

週1回、児童集会で縦割り班によるゲームを実施しています。また、低学年と高学年のペアによる交流給食や通年の集団登校も実施しています。高学年は、学校のリーダーとして、自己有用感(誰かの役に立てたという成就感や誰かから必要とされているという満足感)を育みます。低・中学年は、高学年のしてくれたことに感謝し、自分もあんな高学年になりたいと憧れの気持ちをもつことが成長につながっていきます。



家庭・地域等との連携

● PTA活動「子どもたちの笑顔のために」

登下校の交通安全指導、8月のふれあい校庭キャンプ、1月のふれあいちつき大会など、いろいろな行事のお手伝いをして下さっています。やればやるほど直接返ってくる子どもたちの笑顔のためにいろいろとがんばってください。

